

第1回：こどもの声を聴くこと

2024年3月6日(水)
10時30分～12時

7人のお子さんのお母さんでもあり、NPO法人の代表も務める生駒さん。4人のお子さんは学校外の学び・生活の場で育っています。今は、不登校のお子さんを持つ保護者さんを支える立場の生駒さんですが、様々な思いを抱え一歩ずつ進んで今があります。生駒さんのお話を聞き、皆さんの質問にお答えいただけます。



講師：NPO法人多様な学びプロジェクト代表理事
生駒 知里さん



お申込はGoogleフォームから↓

※おおよその参加人数を把握のためにお申込をお願いしておりますが、当日のキャンセル連絡は不要です。



主催：NPO法人COCONI
共催：佐竹台地区青少年対策委員会
協力：不登校ひろば@吹田
協力：フリースクールボンブレイス



←問合せメール
info@coconi.or.jp

COCONIオンライン学びの場



ZOOM講座

参加費：無料

こども第三の居場所の取組みとして、日本財団助成事業としてオンライン学びの場を開催します。対象は佐竹台小学校区の保護者及びご利用の方とさせていただきます。参加希望の方はGoogle Formよりお申込ください。※アーカイブ配信はありません。

第2回：子どもたちの今を支え未来を描く

2024年3月13日(水)
10時30分～12時



発達障害専門学習塾「複合スペースmarble」プロジェクトリーダー・作業療法士

津田 憲吾さん

作業療法士として、子どもたちの困りごとを、「認知面」、「行動面」、「環境面」からアセスメントし、学習相談や学習指導をされています。作業療法士の知見から、こどもの育ちを支えるお話をお聞きしたあと、皆さんの質問にお答えいただけます。



まちネット通信 56号

「このまちで育ってよかった」「このまちに住んでよかった」と思ってもらえるまちに…



まちネットHP

発行責任者：佐竹台まちづくりネットワーク 吉田 純威：2024年3月

報告 1月14日に「もちつきを行いました」を行いました。

佐竹台地区では、コロナ前までは、連合自治会を中心に老人会、福祉委員会などの協力を得て、大規模なもちつき大会を行ってきましたが、担い手が不足し継続が難しくなってきました。今年は佐竹台小学校の保護者有志の方々と小さくお餅つきを試行しました。

大人も楽しく、こどもも楽しい取組みを考えていきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。



餅米がずらい！

報告 土曜日の学校開放で「凧揚げ」を行いました。

佐竹台小学校の行事委員さんが、たこあげのワークショップを開催しました。材料がなくなるくらい、たくさん子どもたちが参加してくれました。また、子どもたちにアンケートを取って準備した遊具も大好評です。子どもたちの豊かな時間となっています。



報告 菩提池の掃除をしてくださいました。

佐竹台ストロングアローさんが年末に菩提池の掃除をしてくださいました。毎年ありがとうございます！



報告 12月22日に「バリスタ体験」を行いました。

ゆめのみLaboでスターバックスさんが「バリスタ体験」をしてくださいました。



バリスタ気分♪



STすこやかネット プログラム実行委員会 実行委員を募集します！

みなさん、2023年12月9日(土)に行われた「高中フェスタ」は参加されましたか？いわば地域の文化祭のようなイベントで、500名を超える参加者で盛況のうちに終わりました。このイベントは、「STすこやかネット」主催で、佐竹台小学校と高野台小学校と高野台中学校のPTA役員を中心とした実行委員会が中心となり行いました。

2024年度は、広く実行委員会を募り、企画・運営を行います。内容はフェスタに限らず、実行委員会のメンバーで検討していきます。

下記に地域教育コミュニティ事業の目的や事業を載せていますが、子どもたちのためになることであれば実施可能です。高野台中学校区にお住まいの学生さん、保護者のみなさんなど、子どもたちのためになる楽しいことをやってみませんか？



学生諸君！
君のやりたい！を
形にしよう！

＜ 募集内容 ＞

- ①大人実行委員：幼小中学校の保護者・OB、お勤めの教職員
- ②学生実行委員：中学生～大学生

●活動内容
適宜、対面やオンラインで打合せを行いながら進めます。進捗にあわせて随時募集を行う予定です。活動は出来る範囲での取組みで構いません。特技を生かしていただけたら幸いです。

●応募フォームはこちら



※随時募集しており
締切は設けておりません。



さあ！こんなことができる？と妄想会議！
みんなでのしもう！

すこやかネットとは？

地域教育協議会「すこやかネット」とは、大阪府が、平成12年度から中学校区単位に設置したもので、「教育を縁に、地域の子もどろし、子どもと大人、大人どうしが交流し合い、「顔と名前」の一致する人間関係を育む中で、0歳から15歳の子どもの連続した成長を見据えた取組みをすすめます。」とあります。

高野台中学校区では、佐竹台のSと高野台のTを加えて「STすこやかネット」と名付けられています。地域教育協議会は、学校・幼稚園・保育園、PTA、自治会、青少年育成にかかわる各種団体、地域の有志、子供など、地域の実情にあわせて幅広く組織するとされています。

吹田市教育委員会では、「地域教育コミュニティ事業」として予算が下るされ、以下の目的に沿った事業を行なう事ができます。※地域教育コミュニティ事業実施要項より抜粋

＜目的＞

子供を取り巻く社会の状況が変化し、地域社会における連帯意識が希薄化する中、学校・家庭・地域社会が互いに抱えている課題や情報を出し合い、それぞれの教育力の再構築を図りながら、地域社会全体で子供の健全育成の取組みを推進することを目的とする。

＜事業＞

- (1) 地域教育活動事業の実施
ア 教育コミュニティ紙の発行等による啓発活動及び情報提供
イ 就学前教育の支援や子育て支援に関わる活動
ウ 子供の健全育成のための活動
エ 子供の地域事業(体験活動等)への参画の促進
オ その他、地域教育力の活性化に資する事業
- (2) 学校教育支援事業の実施
ア 学校教育活動の支援に資する事業
イ 体験学習の実施協力に関する事業
ウ 児童生徒の非行防止に関する事業
エ 学校改善のための協力
オ 指導者の要請と確保
- (3) 指導者の要請と確保
- (4) 各種団体・組織との連絡調整